

令和8年版 情報通信白書の概要

第Ⅰ部：特集 AIの進展がもたらす多面的影響

～人間とAIが健全に協働するデジタル社会の実現に向けて～

はじめに

第1章 個人におけるAI利用 ～AIがもたらす行動様式の変化～

- 個人におけるAI利用について、日本や他国（米国・ドイツ・中国）でのアンケート調査結果を踏まえ、その詳細な現状（利用経験、利用頻度、利用目的、生成AIに対する感覚など）を世代間比較も交えながら概観。

第2章 企業等におけるAI利用の進展 ～より良いAI利活用に向けて～

- 企業におけるAI利用について、日本や他国（米国・ドイツ・中国）でのアンケート調査結果を踏まえ、その詳細な現状（AI活用に関する方針の策定状況、組織的な取組状況、AIを導入している業務類型など）を概観。
- 日本企業によるAIの活用事例や、近時注目される技術（SLM（小規模言語モデル）、フィジカルAI）に係る研究開発・社会実装の動向等も紹介。

第3章 AIの進展に伴う課題と対応 ～人間とAIの健全な協働に向けて～

- AIの利用に関し、近時指摘されるようになっている課題に関する研究動向や有識者の見解も踏まえながら、人間とAIの健全な協働に向けた展望を概観。

第Ⅱ部：情報通信分野の現状と課題

第1章 ICT市場の動向

- 国内外のICT産業の概況や各市場（例：電気通信、放送コンテンツ・アプリケーション）の現状を整理・分析
- 国民生活・企業活動・公的分野における国内外のデジタル活用の現状を整理・分析

第2章 総務省におけるICT政策の取組状況

- ICT分野における省内横断的な取組、各政策領域（電気通信、電波政策、放送政策等）において総務省が実施する政策・今後の方向性等を整理